お施主様用

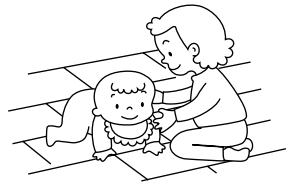
取 扱 説 明 書
ダイケン 温水暖房床 はるびより

<床暖房を安全にお使いいただくために>

この製品をご使用の際には、ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

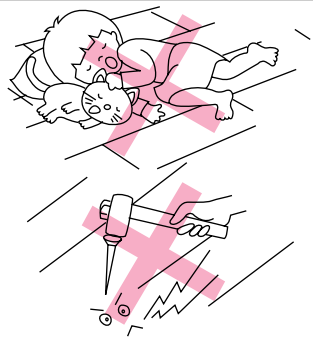
⚠危険

1. 乳幼児や身体の不自由な方には、付き添いなしでは使用しないでください。
低温やけどや脱水症状を起こす恐れがあります。



⚠警告

1. 比較的低い温度でも長時間皮フの同じ場所に触れていると、低温やけどの恐れがあります。
次のような方は特にご注意ください。お子様、お年寄り、皮フの弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方や、深酒、疲労の激しい方。
2. ヒーターパネル部分には、カーペット鋲、釘、木ビス等の打ち込みは絶対行わないでください。
漏水の原因となります。

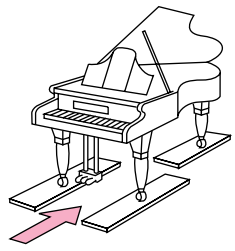


⚠注意

1. スプレー缶等を床暖房の上に置かないでください。
爆発や火災の原因になります。
2. 座布団などの保温性のよいものを長時間同じ場所に置かないでください。又、カーペットの敷き込みはご遠慮ください。
熱で置いたものや床材が変形、変色することがあります。
3. ソファやベッドなどを置く場合、足、又は底の高さが床面より5cm以上のものをお選びください。
4. キッチン周りの常に水ぬれしやすい場所には、すべりや転倒防止のため、必ず足拭きマットをご使用ください。

参考

1. 重量物を載せたキャスター付き台を移動させる場合は、必ず板を敷き、その上を移動させてください。
2. ピアノや足先の尖ったテーブル等を置く場合は、10cm角位の当て板をしてください。
3. はるびよりU、はるびよりTにつきましてはキャスターの直接使用は避けてください。また、Aシリーズ、Wシリーズ Dシリーズ、XDシリーズでもキャスターの種類や荷重、頻度等の使用状況によっては、凹み傷や表面剥離が生じる場合があります。金属性キャスター や球状キャスターの使用はお控えください。また、キャスターの使用頻度が高い箇所はカーペットなど敷いて、床を保護してください。



危険の定義とシンボルマーク

本取扱説明書では「危険」「警告」「注意」「参考」を下のような定義で使用しています。

⚠危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および、物的損害のみの発生が想定される場合。

参考 製品取扱い上、誤りやすいミスに関する事項。

お手入れについて

〈日常のお手入れ〉

● 日常のお手入れは乾拭きとし、水拭きはしないでください。汚れがひどいときは、雑巾を水に濡らし固く絞ってから拭き取ってください。

〈水濡れ〉

● 床暖房を長時間水に濡らしたまま放置しますと、変色・シミ・ひび割れ等の原因となりますので、速やかに拭き取ってください。

〈ひどい汚れ〉

● クレヨン・マジック・油・インキ等でフロアーを汚した場合は、シミにならないうちに家庭用ベンジン等で拭き取ってください。

〈タバコ〉

● 火の付いたタバコを落とした際には即座に取り除いてください。こげ跡が付くととれなくなります。また、タバコのヤニはアルコールを染み込ませた布で拭き取ってください。

〈ワックス掛け〉

ネオテク加工製品についてはワックスによるお手入れは必要ありません。

● ネオテク加工製品は、汚れ、すり傷が非常につきにくい表面仕上げとなっており、ワックスによるお手入れは必要ありませんが、ワックス掛けを希望される場合は、DKワックスネオをご使用ください。
他のワックスをご使用になった場合は塗布ムラ、密着不良の原因となります。

● はるびよりUについては、浮造り加工と艶消し塗装のためワックスを塗ると艶が上がり、床面の仕上がり感が変わります。ワックス掛けをする場合は別売りのＤＫワックスネオをご使用ください。
ただし凹み部にワックスが溜まり、外観を損ねる場合がありますので、出来るだけ薄く塗ってください。（本製品の仕上がりの性質上、ワックス塗布後は艶が高めになります。）

● はるびよりＴにつきましてはワックス掛けは6ヶ月に１度の割合で行いますと、表面の美観が保てます。
ワックスは別売りのDKワックスネオをご使用ください。

※ ワックス掛けする時は、床暖房のスイッチを切り、床の温度が下がってからワックス掛けしてください。床が暖かいうちにワックス掛けすると、艶ムラになります。

性能に関するご注意

1. 住宅の断熱性能、吹き抜けなどの部屋構成、ヒーターパネルの敷設面積及び、外気温等の条件により他の暖房機器との併用が必要になる場合があります。
2. 木には空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気をはき出して縮む性質があります。床暖房使用時にはフロアーが乾燥して縮むため、フロアーの継ぎ目部分で若干のスキ間があいてくることがあります。これは生き物である木材を使用している以上やむを得ない現象であり、床暖房を使用しなくなると除々にフロアーが伸びてスキ間が小さくなります。

工務店様へ：同梱の取扱説明書は必ずお施主様へお渡しください。

大建工業株式会社

製品に関するお問い合わせ先	東京　内装材事業部　東部営業課……	TEL03-3249-4876
	三重　内装材事業部　西部営業課……	TEL059-255-0641
品質に関するお問い合わせ先	東京　内装材事業部　東部品質保証課……	TEL03-3249-4815
	三重　内装材事業部　西部品質保証課……	TEL059-255-0646
本　社	大阪市北区堂島１丁目６番２０号（堂島アバンザ）　〒530-8210	TEL06-6452-6000

08.9（05.7 P5）